

令和6年度学校評価表

府中市立上下中学校

	中期（3年間） 経営目標	短期（今年度） 経営目標	目標達成のための手立て	評価指標	自己評価		学校関係者評価		改善計画
					7月 評価	結果と課題の説明	12月 適正	意見等	改善案
確かな学力	これからの時代に求められる資質・能力（言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等）を育むため、授業改善を推進	①「ことば探究科」で学んだことを学習・生活の基盤とする。（3/3） ②表現力を高める授業づくりを通して、学びに向かう力を育成する。（1/3） ③一人一人の意見が大切にされる「対話的な学び」の実施（2/3）	①ことば探究科の研修の充実を図り、教職員がことば探究科及び各教科・生活等で有効に活用できる。 ②カリキュラム・マネジメントによる小中・各教科・行事等のつながりを明確にし、職員全員が共通認識のもと組織的に取り組む。 ③特別支援教育の視点を大切にした教育活動を実施する。 （※令和6年度 小中一貫教育全国サミットの実施）	①「ことば探究科」の全体研修を（年2回）実施し、授業実践や生徒指導等に生かす。 ②カリキュラム・マネジメントの全体研修（年2回実施）、各教科における「表現力」の指導と評価に関する授業改善（一人1回以上）の提案 ③「クラスの話し合いや友だちとの間で意見が合わなかったとき、みんなが納得するように考えて提案している」等（i-check） ①～③の項目及び生徒・教職員アンケートの肯定的評価 A 達成率 85%以上 B 達成率 75%以上 C 達成率 65%以上 D 達成率 65%未満					
チーム学校	「挑戦を楽しむ」チーム学校の推進	めざす学校像・生徒像に向け、生徒・教職員・保護者・地域が主体的に活動する。（1/3）	①生徒とCS委員との交流を企画し活動の推進を図る。（新たな挑戦） ②地域行事への参画、地域にある教育資源を取り入れた授業づくり。（地域と共に取り組む） ③生徒の自己肯定感の育成を図る。（可能性への挑戦） …教育活動の過程において、自ら考え、判断・選択・決定する場を設定する。	①生徒とCS委員との交歓会及び合同行事を計4回以上開催し、CS活動を推進する。 ②地域行事に4回以上参加する。各教科における、地域とつながる授業を計画・実施する。 ③「自分にはよいところがあると思う」「積極的に挑戦している」など、生徒アンケートによる肯定的な評価 ①～③の項目について A 達成率 85%以上 B 達成率 75%以上 C 達成率 65%以上 D 達成率 65%未満					
豊かな心と身体	ウェルビーイングの向上	【生徒】 よき生活習慣とたくましい体を育成する。（1/3） 【教職員】 ワークライフバランスの実行 …生徒に向き合う時間と自己研修に努める環境づくり。（1/3）	【生徒】 ①縦割り活動による、表現力・体力の向上を図る。 ②健康教育の充実 ③三感（感謝・感動・感受）を大切にした生徒理解 【教職員】 ①チーム担任制により、業務の偏りと負担を軽減する。 ②教職員全員が業務改善に関する提案ができる場を設定する。（経営参加）	【生徒】①②③「学校が楽しい」「心も体も健康だと思う」「三感を意識して生活している」など、生徒アンケートの肯定的評価 A 85%以上 B 75%以上 C 65%以上 D 65%未満 【教職員】①②「生徒と向き合う時間が増えた」「学校の仕事が楽しい」など、教職員アンケートの肯定的評価 A 75%以上 B 70%以上 C 65%以上 D 65%未満					

※自己評価：評価基準に則り、4段階で評価し、記入する。評価指標は各校で定めること。※学校関係者評価：〇月の自己評価に対して自己評価結果が、適正である：○、適正でない：×、適正かどうか分からない：△として、記入する。
※この様式は、各校年間評価計画に則り、7月、12月、年度末等に活用し、中間報告はHPで公開し、最終評価結果を市教育委員会に報告すること。